

# 令和6年度 第46回札幌市中学校体育連盟卓球選手権大会 開催要項

- 1 名称 : 令和6年度 第46回 札幌市中学校体育連盟卓球選手権大会
- 2 主催 : 札幌市中学校体育連盟・札幌市教育委員会・札幌市中学校長会
- 3 主管 : 札幌市中学校体育連盟 卓球専門主任会・卓球専門委員会
- 4 後援 : 札幌市・札幌市PTA協議会・札幌卓球連盟
- 5 期日 : ブロック大会…令和6年6月15日(土)・22日(土)  
全市大会…令和6年7月6日(土)・7日(日)
- 6 会場 : ・北ブロック大会: 北区体育館 ・東ブロック大会: 美香保体育館  
・西・手稲ブロック大会: 西区体育館 ・白石・厚別ブロック大会: 白石区体育館  
・豊平・清田ブロック大会: 厚別区体育館  
・中央・南ブロック大会: 中央体育館(15日) 南区体育館(22日)  
・全市大会: 西区体育館
- 7 開催種目: ブロック大会、全市大会ともに…男女団体戦(4単1複)、男女個人戦
- 8 参加資格: ①本連盟に加入する札幌市内中学校、中等教育学校、義務教育学校に在籍する生徒で、当該学校長が出場を認めた者。  
②年齢は平成21年4月2日以降に生まれたものに限る。  
③年齢が前項の制限を越えて参加を希望する場合は、5月末日までに中体連会長へ申し出て、所定の手続きを行うこと。  
④参加生徒の引率者及び監督は、当該学校の校長・教員(養護教諭を含む)・部活動指導員・外部指導者(外部コーチ)とする。  
⑤監督・引率者は、部活動の指導中の暴力等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていないものであること。外部指導者は校長から暴力等による指導措置がないこと。  
⑥外部指導者は、校長が認めた者で市中体連に登録された者とする。団体戦での複数校のベンチ入りは不可としているため、ベンチ入りする場合は、専門委員長に届け出ること。  
⑦学校教育法第134条の各種学校(第1条に掲げるもの以外)の参加を認める。但し、詳細については札幌市中学校体育連盟内規「札幌市中学校体育連盟選手権大会における参加の特例〈1〉」による。  
⑧地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)を所属としての参加を認める。但し、詳細については「令和6年度北海道中学校体育大会地域クラブ活動の参加の特例 各競技の細則」に準ずる形であり、以下の各種条件等による。  
◎地域クラブ活動に所属する中学生
  - 1) 地域クラブ活動に所属し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。
  - 2) 札幌市中学校体育連盟選手権大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
    - A) 札幌市中学校体育連盟選手権大会の参加を認める条件
      - ア) 札幌市中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
      - イ) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致し、札幌市内中学校、中等教育学校、義務教育学校に所属していること。
      - ウ) 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもと、適切に行われていること。
      - エ) 『札幌市立学校に係る部活動の方針』(平成31年3月札幌市教育委員会発出)に従って、特に「6生徒・教職員双方の負担を踏まえた部活動活動基準の設定等(3)札幌市立学校における部活動活動基準」を遵守していること。
      - オ) 当該競技を管轄する北海道競技団体もしくは地区競技団体に登録されていること。
      - カ) ブロック大会を含む札幌市中学校体育大会において、競技役員など運営上必要な事項に協力すること。
      - キ) 地域クラブ活動で北海道体育大会および全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
    - B) 札幌市中学校体育連盟選手権大会に参加した場合に守るべき条件
      - ア) 札幌市中学校体育連盟選手権大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会も幸せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

- イ) 大会参加に際して、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また万が一に備え、傷害保険等に参加するなどして万全の事故対策を立てておくこと。
- ウ) 大会参加に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
- エ) 団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみである。(複数のチームの参加はできない)

C) 参加を認めない場合

- ・札幌市中学校体育連盟選手権大会の参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

3) 札幌市中学校体育連盟卓球選手権大会における地域スポーツ団体の参加規定

A) 地域クラブ活動の参加規定

- ア) 地域クラブ活動の構成員は代表者、事務担当者、指導者、所属中学生とする。所属中学生以外は20歳以上の成人とする。
- イ) 大会への参加を希望する地域クラブ活動は北海道中体連が定めた団体登録手続きを定められた期間内に行うこと。
- ウ) 地域クラブ活動の指導者は、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(卓球)を取得していること。(令和6年度末までに取得し、資格取得者が必ず1名は在籍していること。)
- エ) 大会への参加を希望する地域クラブ活動の構成員は日本卓球協会、札幌卓球連盟、札幌市中体連の登録及び年会費の支払いを行うこと。
- オ) 指導者を除く地域クラブ活動の構成員は、他の地域クラブ活動に重複して登録できない。
- カ) 団体戦に参加できる地域クラブ活動は「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」又は「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」とする。但し、個人戦のみに参加を希望する地域クラブ活動に関しては地域移行の証明を求めない。地域移行されたスポーツクラブかどうかの判断は北海道中体連卓球専門委員会が行う。(令和5年度から措置)
- キ) 地域クラブ活動から個人戦に出場する選手は「日本卓球協会」に登録している選手個々の自宅住所、または通学する学校の所在地のブロック大会に参加する。(令和6年度の措置)

B) 札幌市中体連卓球選手権大会の参加申し込みの要件

- ・札幌市中体連卓球専門主任会の判断で行う

C) 北海道体育大会および全国中学校体育大会参加申し込みの要件

- ア) 監督・指導者(コーチ)・選手(中学生)は当該地域クラブ活動の構成員とする。
- イ) 当該地域クラブ活動の構成員が全国大会に出場する際、重複して他の地域クラブ活動や中学校の監督・指導者(コーチ)・選手(中学生)になることはできない。

⑨チームは、単一学校で構成されたものとする。

※但し、拠点校方式(学校間連携を含む)として認められている場合は、その限りではない。

拠点校方式(学校間連携を含む)によるチームの監督・引率は出場校の校長または教員があたるものとする。但し、やむを得ない場合は、代表監督・引率を認める。

⑩参加者は、開催要項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。

9 競技方法：☆ブロック大会

- ・団体戦…予選リーグ・決勝トーナメント(3点先取)を基本とする。
- ・個人戦…トーナメント方式とする。

☆全市大会

- ・団体戦…①第1ステージ：12チームを1グループ3チームの4ブロックに分けてリーグ戦を行う。5番まで試合を行い、その得点をもとに勝率計算をして順位を決定する。
- ②第2ステージ：第1ステージを勝ち進んだ8チームによるトーナメントを一回戦、ベスト4決定後の3点先取によるリーグ戦を決勝リーグとする。
- ・個人戦…トーナメント方式とする。

10 登録人数：☆団体戦 監督1名、コーチ1名、アドバイザー(外部指導者)1名、選手登録は  
ブロック大会：各校6～13名 全市大会：各校6～8名とする。

☆個人戦 ブロック大会：各ブロックで定める 全市大会：各ブロック16名以内

- 11 参加料および申込：団体戦は1チーム6000円、個人戦は1名につき800円。ブロック大会申し込み時に、申込用紙を添えて地区専門委員に納入する。（全市大会の参加料はありません。）
- 12 審判方法：団体戦は相互審判、個人戦は敗者審判とする。ただし、個人戦の1回戦は、本部から指定された学校が行う。
- 13 表彰：ブロック大会は、団体戦3位までと個人戦3位までに賞状を授与する。全市大会は、団体戦は優勝1チーム、2位1チーム、3位2チームとし、賞状を授与する。また、優勝チームには札幌市長杯および札幌市中学校体育連盟優勝旗を授与する。個人戦は優勝1名、2位1名、3位2名とし、賞状、メダルを授与する。
- 14 応援：《保護者について》選手待機場所を確保するため、入場の制限を行います  
 ・ブロック大会は、各校の1、2年生の部員1名につき、その保護者1名までの入場を認める。  
各校の3年生の部員の保護者については入場を制限しない。  
 ・全市大会は、各校の出場選手1名につき、その保護者2名までの入場を認める。  
 《補助生徒について》補助生徒：出場選手の応援やベンチコーチ、練習相手を務める生徒のこと  
 <7/6（土）選手権大会1日目の補助生徒について>  
 ・個人戦の出場選手1名につき補助生徒1名の入場を認める。  
 <7/7（日）選手権大会2日目の応援について>  
 ・個人戦の出場選手1名につき補助生徒1名の入場を認める。  
 ・団体戦の出場選手1名につき補助生徒1名の入場を認める。  
 ※ただし、個人戦と団体戦に重複して出場する場合も1名につき1名までとする。  
  
 ・団体戦は登録選手と監督およびコーチ、アドバイザー（外部指導者）の中から2名以内がベンチに入ることができる。ただし、アドバイザー（外部指導者）のみのベンチ入りはできない。  
 ※外部指導者が、監督の代行としてチームを引率している場合は、上記の限りではない  
 ・個人戦のベンチは監督またはコーチ、アドバイザーもしくは生徒（当該校生徒）のいずれか1名しか入れない。
- 15 日程：6月15日（土）…ブロック大会 開会式、男女個人戦 決勝まで  
 6月22日（土）…ブロック大会 男女団体戦 決勝まで、閉会式  
 7月6日（土）…団体戦男女第一ステージ・第二ステージ ベスト4まで  
 個人戦男女ベスト3 2決定まで  
 7月7日（日）…団体戦男女第二ステージ ベスト4によるリーグ戦  
 個人戦男女決勝まで 閉会式
- 16 組み合わせ：ブロック大会は、各ブロック専門委員会の決定による。  
 全市大会は、団体戦の組み合わせ方法を専門主任会で協議し、監督会議で抽選し決定する。  
 個人戦の組み合わせは専門主任会で協議し、監督会議で決定する。
- 17 競技上の注意  
 ① 現行の日本卓球ルールによって行う。  
 ・ユニフォーム…公認のシャツ・パンツを着用する。  
 ・接着剤は公認されたもの（ITTF承認）を会場外で使用する。  
 ・違反アドバイスには一回目チーム全員にイエローカード、二回目は警告を受けた者は退場となる。  
 ② 試合球はヴィクタス・ニッタク・ヤサカ・タマスの4社のプラスチックボールを用意し、「ホワイトボール」とする。  
 ③ ラケット、ラバーは公認されたものを使用すること。  
 ④ 背中には必ず右のようなゼッケンを付けること。  
 （日本卓球協会交付のゼッケンが望ましい）  
 ⑤ タイムアウトについては、全市大会2日目の競技より適用する。

22cm

荻野  
札幌中

## 18 個人情報の取り扱いについて

- ①大会参加者の氏名・所属・学年（種目によっては取得する個人情報）は、大会運営上必要なプログラム、掲示板、大会結果記録速報および札幌市中体連記録集「青春の軌跡」へ掲載するために利用する。
- ②選手の生年月日は、出場資格等で年齢を確認しなければならない場合に取得する。

## 19 開始式・表彰式

**開始式** 1日目

1. 開始宣言
2. 優勝杯・優勝旗返還（全市大会のみ）
3. 審判長注意
4. 選手宣誓
5. 諸連絡

**表彰式** 競技終了後、準備が出来次第随時行います

※全道大会に出場する選手がいるチームの監督の先生は、大会終了後に全道大会に向けた監督会議を行いますので、必ず出席してください。

## 20 会場使用上の注意

- ①生徒の売店、自動販売機の使用は一切禁止です。
- ②バック類は指示された場所に置き、貴重品は身につけて盗難や紛失防止に努める。
- ③昼食は大会運営者より指示された場所でとり、黙食を徹底する。
- ④会場はきれいに使い、ごみは各自で持ち帰る。
- ⑤会場へは入場時間を守り、早く来すぎることをないようにする。

## 21 練習：ブロック大会は各ブロック専門委員会の協議により、大会当日の朝練習の有無を決定し、選手および監督に周知した上で行う。全市大会においても専門主任会の協議により大会当日の朝練習の有無を決定し、選手および監督に周知した上で行う。

## 22 監督会議について（全市大会）

・日時：6月28日（金） 15：30～

・場所：北海道立総合体育センター（北海きたえーる） 中研修室

※駐車場は使用できませんので、ご注意ください。

・内容：要項説明、団体戦・個人戦の組み合わせ及び抽選、競技規則・進行について、その他

## 23 全道大会について

- ・期日：8月2日（金）～4日（日）
- ・場所：稚内市総合体育館
- ・出場：団体戦は本大会（全市大会）における男女各上位2チーム  
個人戦は本大会（全市大会）における男女各上位8名
- ・申し込み：7月7日（日）の試合終了後に受け付けを行います。  
全道大会の説明の会議も行いますので、必ず出席して下さい。

24 係分担：ブロック大会は、各地区の専門委員が運営する。  
全市大会は、各ブロックの専門主任を中心に専門委員が運営する。

- ①選手全員が審判をできるようにしておいてください。
- ②選手宣誓は、団体戦男女各Aブロックの①になったチームのキャプテンが行います。
- ③出場選手のみ参加です。また、生徒が会場に早く来ることがないように徹底してください。
- ④会場使用のマナーを十分に指導しておいてください。
- ⑤競技中の会場内での写真ストロボ撮影は禁止です。
- ⑥生徒保護の観点から試合内容をインターネットおよびSNSなどへの掲載を禁止します。